

# 静岡 岡



## 持続する景観はいかにして出来たか 曾根 幸一

静岡は徳川家と縁の深い城下町だが、大正から昭和にかけて街づくりに先導的な役割を果たしてきた。その一つはシンボルとしての建築が街の要所に配置されたことからコンパクト・シティが実現しているといえそうだ。大火や戦災に立て続けに見舞われたあとの復興、高度成長期の入り口期に市民の協力でできた不燃防火建築帯は、今でもこの街の賑わいを保ち続けている。1世紀にわたる建築と街づくりの軌跡を探る。

5月19日(木) 19:00~21:00

曾根幸一： NPO法人景観デザイン支援機構 副代表

- 会場：本郷瀬川ビル 6階ホール  
東京都文京区本郷2-35-10
- 主催：NPO法人景観デザイン支援機構  
(TDA-J) tel:080-6722-4114
- 参加費：一般：2,000円  
TDA正会員・賛助会員・学生：1,000円  
お申し込み：<http://www.tda-j.or.jp/>

